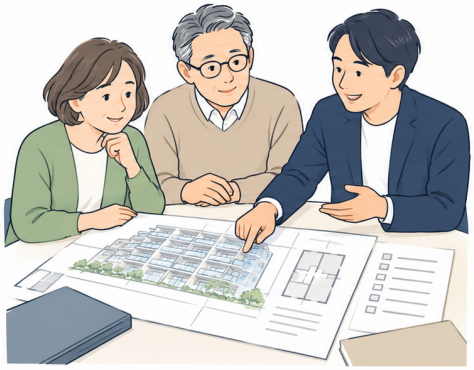
イラストでわかる大規模修繕の準備

いまの修繕に
納得できていますか

「きれいになった」「予算内に収まった」。それは大切なこと。
そのうえで、どこを、どれだけ、どう直したか説明できますか。



見積りに迷う



資料を見て確かめる



次の担当者へ残す

01　金額の違いは、工事内容の違いかもしれません

安い見積りと高い見積り。金額だけで比べていませんか。
塗る面積、材料、直す範囲が違えば、金額も変わります。
まず同じ条件で比べると、違いの理由を確かめやすくなります。

02　追加工事の説明を、確かめられますか

「工事を始めたら、補修する場所が増えました」。
そんなとき、どこが増え、なぜ必要で、いくらかかるのか。
図面や記録があれば、説明を具体的に確認できます。

足場を組んで初めて分かる傷みもあります。追加工事が出たことだけで、不正とはいえません。事前の想定と実際の結果を分けて確認することが大切です。

03　次の理事も、同じことから調べ直しますか

工事を決めた理由や数量の根拠が残れば、次の担当者に渡せます。
資料は、更新しながら使う「マンションの取扱説明書」に。
建物を知ることが、次の修繕の準備にもつながります。

建築の専門家になる必要はありません。分からないことを、聞ける状態に。

ディーエーが一緒に整理します

まずは自分たちの建物を知ることから。

04 難しい言葉は、こう考えてください

数量	どれだけ工事をするか。例：壁を塗る面積、目地の長さ。
仕様	何を使い、どう直すか。例：塗料の種類、補修の方法。
積算	工事の範囲や数量を拾い、費用を見積もるための整理。
仮設計画	工事のための準備。例：足場の場所、出入口の通り方。

05 組合の手元に、判断できる資料を

ディーエーは、今ある図面や見積書を確認し、工事の内容と数量の根拠を整理します。必要に応じて、図面・数量表・仕様資料・足場計画などを作成し、組合への説明を支援します。作成する資料は契約範囲によって異なります。

管理組合＋ディーエー → 設計者 → 施工業者

ディーエーは組合側で理解と判断を支える立場です。設計事務所としてのサービスではありません。設計・工事監理は設計者、施工は施工業者が担当し、役割は案件ごとに確認します。

足場による出入口・駐車場への影響、バルコニーの片付け、洗濯物や騒音など、暮らしに関わる事前の確認事項も、現場経験から共有します。

06 料金も、始める前に分かる形に

基本支援 99万円～

資料・現地の確認、数量の検証、仕様や発注条件の整理、組合への説明と取りまとめを支援します。対象や回数、期間は事前に定めます。

図面・数量表などの新規作成、詳細な足場計画、資料更新などは別途見積りです。建物の規模・形・資料の状態を確認し、業務内容と総額を提示します。変更・追加作業も着手前にご承認をいただきます。

工事費が必ず安くなる、追加費用がなくなる、と約束するものではありません。必要な工事と、その費用の理由を確認できることを大切にします。

初回の電話相談は無料です 30分まで

図面がなくても、まだ計画が決まっていなくても構いません。
所在地・戸数・工事予定時期など、分かる範囲でお話しください。
必要に応じて、オンラインまたは面談での相談も承ります。

当社HPのお問い合わせ先へ。相談前チェックシートもご利用ください。